

青森県内における昨冬のスリップ事故発生状況

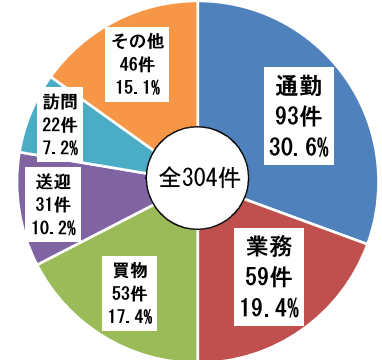
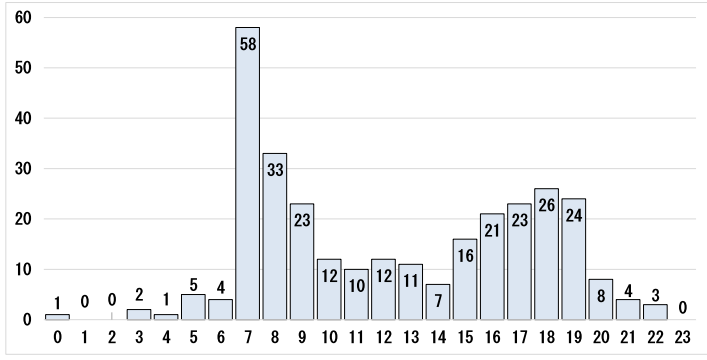
交通部課
交通企画課

令和4年11月から令和5年3月末までの間に、青森県内で発生したスリップ事故は、
 ○ 時間帯別では、午前7時台が最多で58件（19.1%）
 ○ 通行目的別では、通勤が最多で93件（30.6%）
 ○ 事故類型別では、追突事故が最多で192件（63.2%）
 などの特徴がありました。
 冬道を運転する際は、
 1 夏場に比べて、スピードを落とす
 2 路面乾燥時に比べて、2倍以上の車間距離を保つ
 3 いつもより早めに出発する
 4 急ブレーキや急ハンドルなど、急のつく動作を控える
 ことを心掛けましょう。
 ※ スリップ事故とは「圧雪凍結路面等のため、制動距離が長くなったり、進路が左右方向に変化した事故」をいう。

1 自動車運転者が第1当事者の交通事故とスリップ事故発生状況

発生年度	令和3年度						令和4年度						対前年度比									
	令和3年		令和4年				令和4年		令和5年				11		12		1		2		3	
	11	12	1	2	3	計	11	12	1	2	3	計	11	12	1	2	3	計				
自動車運転者が第1当事者の交通事故	発生件数	233	296	235	172	127	1,063	235	301	278	237	153	1,204	2	5	43	65	26	141			
	死者数	6	3	2	2	6	19	1	4	4	2	5	16	-5	1	2	0	-1	-3			
	負傷者数	261	359	293	205	147	1,265	285	360	348	281	170	1,444	24	1	55	76	23	179			
うちスリップ	発生件数	6	84	113	67	13	283	2	94	110	97	1	304	-4	10	-3	30	-12	21			
	死者数	1	0	0	1	0	2	0	1	0	0	1	1	-1	1	0	-1	0	-1			
	負傷者数	9	106	145	88	14	362	3	116	141	110	1	371	-6	10	-4	22	-13	9			
スリップ構成率	発生件数	2.6%	28.4%	48.1%	39.0%	10.2%	26.6%	0.9%	31.2%	39.6%	40.9%	0.7%	25.2%									
	死者数	16.7%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	10.5%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%									
	負傷者数	3.4%	29.5%	49.5%	42.9%	9.5%	28.6%	1.1%	32.2%	40.5%	39.1%	0.6%	25.7%									

2 時間帯別スリップ事故発生件数（令和4年11月から令和5年3月末までの間）
 スリップ事故の時間帯別発生件数を見ると、出勤時間帯となる午前7時台が最多で58件（19.1%）と突出している。
 また、通行目的別では、通勤が最多で93件（30.6%）を占める。



3 事故類型別スリップ事故発生件数（令和4年11月から令和5年3月末までの間）
 スリップ事故を事故類型別にみると、「追突」が最多で192件（63.2%）と突出している。
 また、追突事故の違反別発生件数は、「ブレーキ操作不適」が最多で85件（44.7%）で、次いで「安全速度」が70件（36.8%）である。

